

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ARCH 那珂川		
○保護者評価実施期間	R8年3月1日		～ R8年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R8年3月1日		～ R8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年4月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の発達段階や特性に応じ、体操や運動遊びを通じた支援を実施している。□	ヒヤリハット事例の共有と再発防止策の検討 定期的な避難訓練の実施 運動器具の定期点検	緊急時対応マニュアルの継続的見直し
2	利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援計画を作成し、個別対応を徹底している	・個別支援計画に基づいた段階的な運動プログラムの実施	職員の安全管理研修の充実
3	"定期的なモニタリングとケース会議の実施 保護者との連絡帳や面談による情報共有"□	・成功体験を重ねることで自己肯定感の向上を図る支援	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部研修への積極的参加 事業所内研修の定期開催 OJT体制の強化	利用児童のニーズが多様化している 個別対応に時間を要する	マニュアルの見直し・更新 職員研修の継続実施
2	支援マニュアルの整備および周知 個別支援計画の共有徹底 定期的な振り返りミーティングの実施		アセスメントの強化 支援目標の明確化と評価の実施 専門職との連携強化
3			